

令和7年第7回笠間市教育委員会定例会議事録

- 1 招集日時 令和7年7月16日(水) 午後2時30分開議
- 2 招集場所 笠間市役所教育棟 教育委員会室
- 3 議事録署名人 吉崎 静 夫
- 4 教育長及び出席委員
教育長
教育委員 4名
事務局 12名
- 5 傍聴人 なし
- 6 提出された議題(議事) 以下のとおり
- 7 会議の概要

(1) 開会

小沼教育長 午後2時30分開会を宣す。

小沼教育長 会議に先立ちまして、私から「令和8年度小・中・義務教育学校において使用する教科用図書並びに特別支援学級(知的障害)において使用する教科用図書の採択について」の議案を発議いたします。本日の議事日程において、「令和8年度小・中・義務教育学校において使用する教科用図書並びに特別支援学級(知的障害)において使用する教科用図書の採択について」を「議案第13号」として追加したいと思っております。ご異議ございませんでしょうか。

(異議なしの声)

小沼教育長 異議なしと認め、「令和8年度小・中・義務教育学校において使用する教科用図書並びに特別支援学級(知的障害)において使用する教科用図書の採択について」を「議案第13号」として議事に追加いたします。

(2) 議事録署名人の指名

小沼教育長 吉崎委員を指名する。

(3) 教育長の報告

- 小沼教育長 別紙により教育長事務報告をする。
- 小沼教育長 教育長のお事務報告が終わりました。委員の意見を求めます。
- 鳥羽田委員 台湾小中学生ゴルフ交流会の参加者は、どのような基準で選ばれたのでしょうか。
- 事務局 笠間市内の学校に募集をかけ、応募してきた11名になります。
- 小沼教育長 今回はスナッグゴルフではなく、ゴルフをやっている児童生徒を希望されていました。
- 鳥羽田委員 わかりました。
- 小沼教育長 その他ございますでしょうか。
- 各委員 (特になしの声)
- 小沼教育長 それでは、教育長の報告については、以上のとおりとします。

(4) 議事

- 小沼教育長 それでは、議事に入ります。本日の議事「議案第13号」については、教科書の採択案件となりますので、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第14条第7項の規定に基づき、審議を非公開としたいと思いますがいかがでしょうか。
- 各委員 (異議なしの声)
- 小沼教育長 それでは、異議なしと認め、「議案第13号」の案件を非公開といたします。

【議案第13号】 非公開

- 小沼教育長 それでは、非公開の案件が終了しましたので、会議の非公開を解除いたします。
- 小沼教育長 以上で全ての議事が終了いたしました。

(5) その他

小沼教育長

続きまして、その他の事項に入ります。それでは、一人ずつ雑感を共有していただきたいと思います。まずは廣原委員からお願いします。

廣原委員

6月26日の茨城新聞の第一面に、選定療養費の記事が出ていましたが、救急車の要請を躊躇するという状況は、特に中学生などは、猛暑の中で部活動などの運動をしているのけがや病気などは保護者とのトラブルの元になると思うのですが、教育委員会として、校長会や養護教諭の部会で、指導や伝えていることなどはあるのでしょうか。

事務局

昨年度と今年度においては、救急車の要請はなく、保護者が負担を負うケースはありませんでした。これまで通り、心配な場合は、まず#8000を活用し、救急車の要請が必要かどうかの判断を仰ぐ、という指導をしています。

廣原委員

それは保護者にも伝えてあることでしょうか。

事務局

県からの通知も来ていますので、伝えていきます。

小沼教育長

心配なところですが、水戸市は公費で賄う、水戸第一高等学校附属中学校は、学校のPTA予算で負担する、となってきたので、今後このような事案が増えていくと思います。水戸協同病院の倫理委員会の話では、選定療養費については、救急車の判断ではなく、受け入れ病院の医師の判断ということです。茨城県教育委員会としても、医師会や弁護士会とも話し合いを進めているということなので、今後新たな判断が出てくると思います。県としては、#8000にまず判断を仰ぎ、救急車を要請したほうが良いと判断された場合は、費用は徴収しないとしています。安心して救急車を要請できるような環境を作りたいと思います。

廣原委員

わかりました。

小沼教育長

続いて、鳥羽田委員をお願いします。

鳥羽田委員

6月下旬に名古屋で起こった教員の児童盗撮事件が頭に残っています。子どもを守るはずの教員が、犯罪に手を染めるという、本当にあり得ない状況で、言葉にならないというのが率直な気持ちです。笠間市教育委員会のHPを見ると、7月3日付けで盗撮

防止に向けた対策がアップされ、7月8日には、一斉点検の結果、校内に不審物はなかったと再度アップされていたので、安心したのですが、この件について事務局より何かあればお聞かせください。

事務局

先週の金曜日に、全県下で管理職を対象に研修会が行われました。その中で一斉点検を各校で行うよう指示がありましたが、笠間市では、7月7日に一斉点検を行い確認をしたところです。今後についても、定期的に安全点検の中で、カメラ等の不審物がないかの確認項目を入れたり、現在水泳学習の時期ですので、着替えがある場合には、事前に教室等を確認したりするなどの指示をしました。さらに夏休み期間を使って、学校で校内研修を計画していると思いますが、その中でコンプライアンス研修の一つとして、盗撮防止に特化した研修を改めて実施してもらうこととしました。資料や確認シートについては、山形県が作成した資料を参考に、各学校に配布し、活用してもらうということで、さらに防止に向けた取り組みをしています。

鳥羽田委員

盗撮の防止に向けた対策や一斉点検の結果などについて、HPには掲載されていますが、保護者にはどのように通知されているのでしょうか。

事務局

HPを通じてになります。

鳥羽田委員

そうすると、HPを見ないとわからないということですね。内容的に保護者だけではなく、大勢の人たちが心配している事案ではないかと思ったので、笠間市として、ルールはあると思いますが、このような事案については、例えば、かさめ～や笠間市のラインで配信してくれると、わざわざHPを見に行かなくても確認できるので、保護者も安心感が少し高まるのではないかと思います。機会がありましたら、検討をお願いします。

小沼教育長

わかりました。検討します。

吉崎委員

私は笠間市の教育委員の前に、川崎市でも教育委員を6年間やっていました。川崎市は政令指定都市ですので、教員採用試験も市で行い、教育委員も教員採用試験に関わります。私もやりましたが、その時「なぜ教員を目指すのですか？」と聞くと、「子どもが好きだから」という回答が多かったです。私は、一定の割合で危険な人がいると思っていますので、「子どもが好きとはどういう

井上委員 中学校や高校も、バスを借りて団体で来てもらって、一生懸命見てはくれるのですが、10年後、20年後のことを考えると、今の子どもたちが気軽に行ける環境作りを充実していかないと、次へ続いていかず、ひとアクションで終わってしまうと思います。長い目を見て、親が子どもを当たり前前に連れて行けるような環境を作るために、少しずつ意識を変えていかないと10年後、20年後も今と変わらないと思います。そういう環境作りが、今の日本は遅れているように思います。

廣原委員 以前陶芸美術館でスタンプラリーをやっていましたが、参加する子どもたちもいますね。

小沼教育長 スタンプラリーは今でもやっていますので、そういうものを啓発していく取り組みを、校長研修会などでも話してもらってください。

事務局 稲田中学校では、レプリカですが、作品が廊下などに飾られており、美術科の担当者が定期的に入れ替え、本物に触れる機会を作っています。

井上委員 学校の先生も、専門の先生が少なくなっているので難しいと思うのですが、このように細かくやっても、やはり単発になってしまうので、10年後、20年後どうするのかどうするのかというところだと思います。そうすると全体の文化的な考えのレベルが上がっていくと思いますので、そのように持っていきたいと思っています。そのために、少しでも協力できればと思います。

小沼教育長 続いて、吉崎委員お願いします。

吉崎委員 今指導している、つくば市の学校へ先月末と今月初めに2回行ってきました。今回特に重要だったのは、日常生活と教室の学習をどうつなぐかということです。例えば、4年生の算数で、「垂直、平行と四角形」という単元があります。その授業で行われたことは、まず地区の地図を見せて、道の交わり方や地形についていろいろ気づかせて、そこが平行になっている、垂直になっている、そうするとその結果、その土地はどうなるかなど話し合っていました。その後、教科書のイラストを使って、グループで調べ学習をさせていました。日頃生活している地区のことと、教科書で学んだことが繋がっていることがすごいと思いました。以前の全国学力調査の結果で一番課題になったのは、2007年(平成19

年)の小学6年の算数の問題で、この平行と垂直でした。その問題は、地図の中に長方形と平行四辺形の2つの公園があり、図形の名前を隠して、言葉と式でその二つの公園の違いを説明しなさいという問題でした。6年生だと、長方形や平行四辺形は8割以上ができますが、この具体的な地図の場面の面積の比較は、3割以下20数%でした。子どもは図形の問題を式で解くことはできるが、日常の場面の中でその面積を求めさせると、途端にできなくなる事、さらに、言葉と式できちんと説明しなさいと言われると、もっとできなくなるということ、これは教育関係者にもものすごいショックを与えました。今回も、小学校も中学校も課題はそこだったと思います。報告もされていますので、笠間市も、算数の場合でも日常とどう繋げるのかということと、国語の成績が良いので、そこをうまく使いながら、言葉や式できちんと説明するという事を日頃から行っていけば、算数や数学の学力向上に繋がるのではないかと思います。

小沼教育長 教科横断的な考え方や日常化など、課題がたくさんあって、笠間市として、STEAM教育を取り入れていく状況が来たのかと思います。

事務局 ご指摘の通り、理由をつけて説明をする、言葉で説明するということは、現状のままでは成績が上がっていかないと思います。一方課題として、高校入試がどちらかという記号で回答する傾向にあり、中学校もご指摘のところに力を入れたいけれど、入試対策を考えた時に、そちらばかりできないという現状になっていると考えています。

小沼教育長 論理的に説明するということは、笠間市としても課題となっています。先生と生徒のキャッチボールしかできていない状況ですので、授業改善という視点で、これから計画訪問等でやってもらえればと思います。

吉崎委員 是非よろしくお願いします。

小沼教育長 ありがとうございます。ほかにございますか。

各委員 (特になし)

(6) 閉会

小沼教育長 午後3時03分閉会を宣す。

8 議決事項

議案第13号 令和8年度小・中・義務教育学校において使用する教科用図書
並びに特別支援学級（知的障害）において使用する教科用図書
の採択について

可決